

補正予算

●平成22年度一般会計
平成22年度新冠町一般会計は、既定の歳入歳出予算額に83,735千円を追加し、総額を63億9,675万7千円としました。

町長行政報告

地域懇談会「まちかどミーティング」の開催結果について

例年、開催しておりました「町政懇談会」につきましては、開催日時を年の始めに固定し、会場や参加範囲を指定するとともに行政の情報提供の場として活用してまいりました。

さらに、地域の実情や課題等を把握するため教育長をはじめ関係課長並びに地域担当職員の出席により開催してまいりましたが、近年では出席者の減少と情報提供に時間を費やし、形骸化の傾向にありましたことから、地域住民が一人でも多く参加できる環境づくりとまちづくりに対する多くのご意見・ご提言を頂くことを主眼に、新たな「地域懇談会」の実施方法等について検討し、その結果に基づき、この度、地域懇談会「町長と語ろう まちかどミーティング」と称し、実施いたしましたので、これまでの経過と開催結果についてご報

告いたします。

まず、地域懇談会の開催目的として、各自治会に赴き、地域や町政の課題を地域の方々との膝を交えて話し合い、地域と行政が一体となったまちづくりを行っていきける環境を醸成することとして、名称を変え、新たな気持ちで懇談の場に参加して頂けるものと考えたところであります。

次に、実施方法であります。原則自治会単位とし、地域の方が最も集まりやすい時期に開催することとし、11月から2月までの4ヶ月の期間の中で、日時及び場所を設定して頂き、日程調整をいたしました。

また、地域住民の方から多くのご意見やご提言を頂くため、ざつとばらんな意見交換ができる環境に配慮し、最小の職員で対応いたしました。



本年度の地域懇談会は、昨年11月14日の大狩部第一自治会を皮切りに本年2月1日開催の里平自治会を最終とし、20会場において27自治会、参加者は昨年の2倍相当の332人の参加を頂きました。このことは自治会単位の実施であったことや総会・新年会と併せて実施した自治会もあり、気楽な雰囲気の中で活発な意見交換が出来たものと捉えております。

主な意見・提言等ありますが、本町の基幹産業であります一次産業における高齢化に対する後継者対策や農作物への被害が増大しているエゾシカの駆除対策及びTTPによる町内の影響等、さらに高齢者福祉サービスの充実として買い物の楽しみの確保や介護タクシーへの助成等、多岐にわたるご意見・ご提言を頂きましたので、今後の町政運営に反映できるか否かを検討してまいります。

なお、地域における要望事項などについては、市街地を除く自治会を毎月定期的に地域担当職員がうかがい、要望事項等があれば、その都度関係課並びに関係機関と協議のうえ対応してまいりましたので、この度は各会場におきまして若干の要望事項がありました。地域担当職員が対応することでご理解を頂いたところでもあります。これからも地域担当職員制度を活用して頂き、地域の皆さんと職員の信頼関係を構築してまいりたいと考えております。最後になりましたが、この度の地域

第1回 定例会

議会

3月2日に招集された第1回定例町議会は3月10日、全日程を終えて閉会しました。今定例会では、小竹町長、辻本教育長の行政報告のほか、平成23年度当初予算案等が審議されました。その主な内容についてお知らせいたします。

懇談会におきまして、多くの地域の皆さんの参加と忌憚のない意見交換の場を設けて頂き、予想を超える貴重なご意見・ご提言を頂きましたことについて、この場をかりてお礼を申し上げる次第であります。

来年度につきましては、開催の選択期間を延ばして、最も地域の皆さんが集まりやすい環境の中で、多くの地域住民の皆さんとの場をつくり、「きらりと光るにいかつぶ」をキーワードアップさせてまいりますので、今後より一層のご協力をお願いいたします。

12月26日の大雪による農業施設被害について

去る、12月26日未明から昼にかけての大雪により、町内の基幹作物であるピーマンやアスパラガスなどの施設野菜地域でビニールハウスの倒壊被害が発生しましたので、その状況についてご報告いたします。

発生状況であります。倒壊及び破損したビニールハウスが18戸73棟、面積21,232平方メートルで被害額が46,017千円、作付けされていたホウレンソウ、コネギ、早出しのアスパラガスなどの作物被害が695千円となっております。

今回は、主要作物のピーマンの裏作として作付けられた、寒出しホウレンソウや早出しのアスパラガス、コネギなどの2重、3重ハウス施設が特に大

きな被害を受けているところであります。

被害にあわれた方は被害を受けたこともさることながら、生育中や出荷目前の作物が出荷できなかったことへの落胆と復旧に向けた倒壊施設の撤去作業と建設作業に係る心労は計り知れないものがあると思えます。

町では振興作物の生産に大きく影響すること、来期の作付けに間に合うように支援する必要があると判断し、町農協とその対策について検討した結果、農協と生産者が復旧について十分に話し合いをしたうえで、町農協が講じる支援策に対し、町が支援を行うこととしております。

エゾシカ駆除に係る町内一斉駆除実験の実施結果について

約百年続きました日高支庁は、「北海道総増加の一途をたどるエゾシカの駆除対策については、平成23年度から管内7町で構成される日高管内有害鳥獣対策広域協議会が中心となつて一斉駆除を実施することとしておりますが、それに先立ち、一斉駆除での安全や課題などの確認などを行う実験を、去る2月27日に朝日地区チヨリパライの沢から庄司信幸地先までの採草地において、ハンター12名、町職員5名で実施しましたので、その成果について報告いたします。

今回は、数年前から採草地や放牧地、



飼料用サイレージなどに多くの被害があり、比較的エゾシカが集団で行動している地区に限定し、猟友会新冠分会と朝日、高江地区の皆さんの全面的協力のもとに、勢子により射撃し易い場所まで追い込み射撃する方法により実施し、成果としては、オス1頭、メス2頭で合せて3頭を駆除したところであります。

駆除したエゾシカは、即座に現場にて肉などの利用部位を取り除き、新ひだか町にある日高中部塵芥処理センターで処理しました。

管内のエゾシカは道内でも上位の増加率と生息頭数も推定で約12〜13万頭ともいわれ、管内有害鳥獣被害対策広域協議会では、繁殖抑制が可能なら3〜4万頭程度にするため、来年度から3

本年度の地域懇談会は、昨年11月14日の大狩部第一自治会を皮切りに本年2月1日開催の里平自治会を最終とし、20会場において27自治会、参加者は昨年の2倍相当の332人の参加を頂きました。このことは自治会単位の実施であったことや総会・新年会と併せて実施した自治会もあり、気楽な雰囲気の中で活発な意見交換が出来たものと捉えております。

主な意見・提言等ありますが、本町の基幹産業であります一次産業における高齢化に対する後継者対策や農作物への被害が増大しているエゾシカの駆除対策及びTTPによる町内の影響等、さらに高齢者福祉サービスの充実として買い物の楽しみの確保や介護タクシーへの助成等、多岐にわたるご意見・ご提言を頂きましたので、今後の町政運営に反映できるか否かを検討してまいります。

なお、地域における要望事項などについては、市街地を除く自治会を毎月定期的に地域担当職員がうかがい、要望事項等があれば、その都度関係課並びに関係機関と協議のうえ対応してまいりましたので、この度は各会場におきまして若干の要望事項がありました。地域担当職員が対応することでご理解を頂いたところでもあります。これからも地域担当職員制度を活用して頂き、地域の皆さんと職員の信頼関係を構築してまいりたいと考えております。最後になりましたが、この度の地域

年間駆除、狩猟合せて年間3万頭、総数で9万頭程度駆除したいと考え、猟友会や関係機関とも連携し、管内統一的な一斉駆除や残滓の処理の実施、有効利用などを検討しているところであります。

当町でも今後、出産前に出来るだけ多くのエゾシカを駆除するために、4月、5月に計4回の一斉駆除を行うほか、平常時でもできるだけ多くのエゾシカを駆除するために猟友会等と連携し、射撃の他くりわな等による駆除活動を安全を第一にしながら拡充して参りますが、これには地域住民の皆さんのご理解を頂き地域一丸となつて取組まなければ生息数の減少を図ることはできませんので、ご協力よろしくお願いたします。

教育長行政報告

学校教育の推進について

1 点目は、新冠中学校卒業生進路希望状況と平成23年度学級編制につきましては、その概要について申し上げます。はじめに進路希望ですが、2月21日現在で12名の推薦合格が内定され、静内高等学校へは35名、他に道内12校へ28名の希望となっております。

次に学級編制についてですが、学級数では、新冠小学校で普通学級1学級が減となる見込みであり、新冠小学校、